

# 東京教区時報

第1130号  
2009年7月5日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇7月の代祷・信施奉献先  
▽アジア学院の働きのため▽海の主日(7月第2主日7・12)  
▽聖公会八王子幼稚園のため▽女性の家HELIPのため

▽7月ランチタイム・オルガンコンサート \*聖パウロ110日(金)12時20分、佐藤礼子(他にリコーダー・斎藤文誉、フアゴット・笠間晶子) \*神田キリスト115日(水)12時20分、春日朋子 \*聖テモテ21日(火)12時30分、小林英之 各々30分程度・入場無料  
▽銀座朝拝会 14日・28日(第2・第4火曜)7時半、ルノアル喫茶室ニュー銀座。8月11休会。照会1042(796)1498・世話人。

## 今週・来週の予定

7月5日～18日

- 5(日) 聖霊降臨後第5主日  
主教巡回  
聖テモテ教会
- 6(月) 正義と平和協議会運営委員会
- 7(火) 聖職養成委員会
- 10(金) 広報委員会  
エルサレム協働委員会  
外濠G牧師協議会  
(聖バルナバ)
- 11(土) 正義と平和協議会講演会・協議会  
(聖アンデレ・教区会館)
- 12(日) 聖霊降臨後第6主日  
主教巡回 神愛教会
- 13(月) 財政委員会
- 14(火) 人権委員会(聖バルナバ)  
月島将来計画準備室
- 15(水) 教役者レクイエム  
信仰と生活委員会
- 16(木) 環状G牧師協議会  
人権日の丸・君が代  
常置委員会
- 17(金) IT特別委員会

▽西新の会 14日(火)19時  
半・聖餐式(高橋頭司祭)、28日(火)10時半・聖書の学び(関正勝司祭)、井草地域区民センター。8月11休会。照会103(3951)5010・目白聖公会。

◇堅信受領  
6月28日 阿佐谷聖ペテロ教会  
▽高橋慈生▽寺崎寛(聖ペテロ)

◆とこしえの平安

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 6月18日 | 藤田 邦子(85)         |
| 6月20日 | 聖マーガレット 江崎美恵子(77) |
| 6月23日 | 大森三英子(93)         |
| 6月27日 | 齊藤 弘子(85)         |
| 6月27日 | 安藤 敏子(84)         |
|       | 目白 三光             |
|       | 小金井               |

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

私は、学生時代に洗礼・堅信を受けましたので、今年で49年目を迎えました。この間サラリーマン時代は、子どもの幼稚園入園や幼児洗礼でお世話になった一時期を除きますと、度重なる転勤や転居もあって、多忙や疲れを口実にほとんど教会を訪ねる気持ちに至りませんでした。

### 《み手のなかで》

## いま在る私への感謝

三村 英夫

ところが、年金生活に入ってから間もないある日、たまたま、教籍のあった東京諸聖徒教会から届いた「教区時報」を見て、「カパティラン」の事務局長募集の記事が眼にとまり、妻に促されて応募したところ、意外にも採用となりました。

「カパティラン」での働きを通じて、私は初めて在日フィリピン人女性の実情を知り、その苦しみや悲しみを実感する

と共に、彼女達を励まし献身的に支えるスタッフやボランティアの皆さんの働きに、深い感動を覚えました。

事務局長としての働きは、わずか数年で微々たるものでしたが、教会から遠ざかっていた私に、今何をすべきかを悟らせてくれた貴重な体験となり、これを機に教会への復帰もかない、奉仕活動の広がりに伴う新しい出会いや、往時の懐かしい兄弟姉妹との再会にも恵まれました。

そして、時折、礼拝に参加していた妻が今年イースターに受洗し、私には言い尽くせない喜びが加わりました。

「いま在る私」ととって、あの「教区時報」が神様から届いた贈り物であったと固く信じ、感謝する毎日です。

(真光教会信徒)

▽日本プロテスタント宣教150周年記念礼拝・催事 日米和親条約締結・開国後の1859年、最初のプロテスタント宣教師ウィリアムズ師らが長崎や横浜に来航し、何人かの宣教師たちが日本で宣教を始めてから150年。日本基督教団など日本プロテスタント諸教派・教団・教会が合同して7月8日(水)・9日(木)、パシフィコ横浜国立大ホール・同会議ホールで記念礼拝・式典などを行う(事前登録・会費制)。米国監督教会から派遣されたウィリアムズ師の宣教軌跡もプロテスタント宣教史に残されている。日本聖公会もプロテスタント教団教派のひとつながら、秋に独自の記念礼拝・催事を行う関係もあ

り、聖公会としては「後方支援的な参加」(管区事務所総務主事談)としている。各個教会・信徒レベルでの参加は自由。同実行委員会は日本聖書協会内に置かれている。TEL03(3562)8725。

▽聖歌集を歌う会くみんながクワイア!富士山に向かつてハーモニー 東京教区礼拝音楽委員会・中部教区宣教局礼拝部共催、第4回。8月7日(金)8日(土)・シヤレー(静岡県御殿場市)。ゲスト・スコット・シヨウ(立教大学教授・同学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊長)。参加費9千円。照会・申込先 清瀬聖母教会宮崎光司祭 宛 電話042(493)7472。申込締め 7月20日。楽器持参歓迎。

《今、この教会では…》

池袋聖公会 少年高齢化、財政問題等はどこでも頭の痛い話題です。当教会も戸惑っていました。そこで根本的なこととして教会を元気にすることが先決と、「信徒の声」という記名アンケートを昨年実施し意見やアイデアを集めました。回答結果はすぐに出るものと、長期検討課題とに分類しました。諸問題の解決にはまだ遠い道のりですが、小さな声を寄せ集めていく手法は池聖ならではの解決策と思えます。具体的な方法(思い)は違っても池聖を愛する思いに違いは無いと感じました。私はこの愛が問題解決には重要であると信じて疑いません。(斎藤道郎)

## 【クローズアップ】20

### 聖公会女性フォーラム

去る6月12日、13日、教会、教区の枠を越えて総勢50名が集められ、牛込聖公会聖バルナバ教会を会場に、標記のフォーラムが開催されました。この会は、私達が個人として、また教会を通して、神の与えられる恵みと招きに応じて生きることが出来るように祈り、学び、交わり、それぞれの想いを共にする自主的な会で、1992年に始まり今年で17回目になります。「女性」と名前がついています。が、すべてのセクシュアリティを対象とする誰もが参加できる会です。年毎にテーマを決め、それに沿った礼拝、バイブル・

シェアリング、分科会などを行っています。

今年のテーマ「わたしたちのからだ」に基づき、大切にされるべき「からだ」が軽んじられている現実を痛み、二分されない全体としての「からだ」を互いに大切にしたい関係が回復されることを願って、7つのテーマで分科会をもちました。初日のプログラム終了後、直ちに洗礼を決意された方がいらしたことは、私達にとつて大きな喜びでした。また「女性だけが集まっても考えが偏る、等の先入観が払拭された」との感想もいただき、新たな勇気と希望を与えられました。

今回のフォーラムでは名称についてこのままでよいのか(特

に「女性」の部分。教会内での女性は数字上はマジョリティーであるが存在としては未だマイノリティーであること等について)の意見交換をしました。が、敢えて「女性」を残して欲しいとの声が多く聞かれました。そこには、女性教役者と共に捧げる聖餐式に感動し、今でもまだ「女性」と付けなければ思うような動きが取れない状況があるからです。名称については今後一人ひとりの力によって成り立っているこの会がより広く知られ、開かれて行くことを願っています。

聖公会女性フォーラム準備員

西川華織  
青木ゆり